



国家级非物质文化遗产代表性项目

绍派伤寒的保护与传承

沈 钦 荣

2021年10月 绍兴



非物质文化遗产：

- 是指各族人民世代相传，并视为其文化遗产组成部分的各种传统文化表现形式，以及与传统文化表现形式相关的实物和场所。
是一个国家和民族历史文化成就的重要标志，是优秀传统文化的重要组成部分。
- “非物质文化遗产”与“物质文化遗产”相对，合称“文化遗产”。

2003年10月，联合国科教文组织第三十二届大会通过《保护非物质文化遗产公约》；

2004年8月，经全国人大常委会批准，我国正式加入《保护非物质文化遗产公约》；

2005年3月，国办发〔2005〕18号出台了《国务院办公厅关于加强我国非物质文化遗产保护工作的意见》；

2006年5月，国务院公布第一批国家级非物质文化遗产名录；

2006年11月，中华人民共和国文化部令（第39号）发布《国家级非物质文化遗产保护与管理暂行办法》；

2011年2月25日通过公布，自2011年6月1日起施行《中华人民共和国非物质文化遗产法》；

2021年8月，中共中央办公厅、国务院办公厅印发的《关于进一步加强非物质文化遗产保护工作的意见》；

坚持以社会主义核心价值观为引领，贯彻“保护为主、抢救第一、合理利用、传承发展”的工作方针；

代表性保护项目；

代表性保护项目保护单位；

代表性保护项目代表性传承人；

县（市、区）、市、省、国家四级；

壹 三个做法

贰 三点思考

三 五年计划



壹

三个做法

一 挖掘与保护

二 学习与研究

三 传承与弘扬





2008年，“中医中药中国行”系列科普宣传活动绍兴站



绍兴市中医药文化研究所
授牌仪式

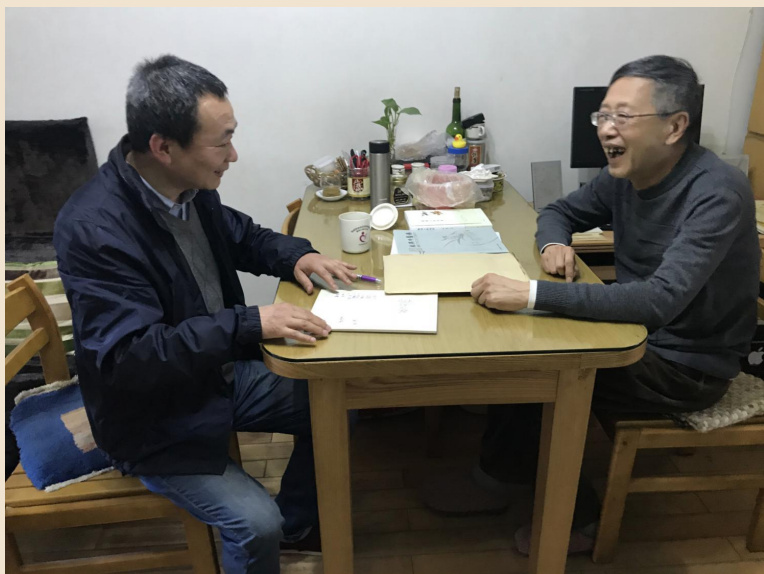


2009年11月1日“首届越医文化论坛暨张景岳学术思想研讨会”
在历史文化名城绍兴举行

连建伟专家指导项目



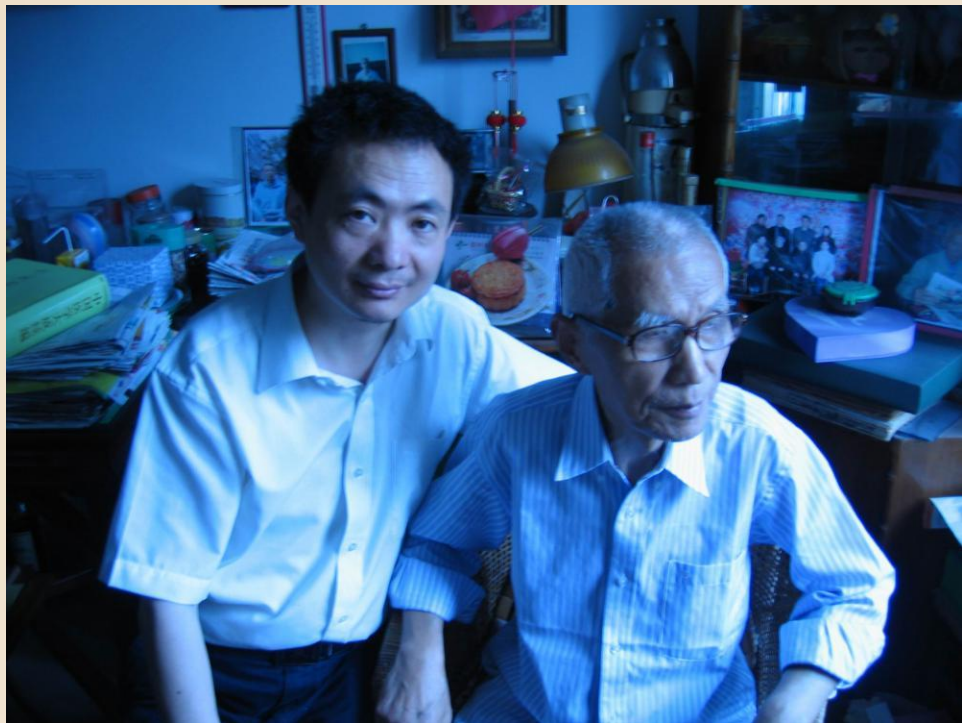
方春阳专家指导项目



肖鲁伟专家指导项目



挖掘与保护



拜访越医曹炳章之子曹幼华



顾氏伤科传人
顾步卿



三六九伤科传人
王俊林女儿



在越医张又良墓前



在越医王慎轩墓前



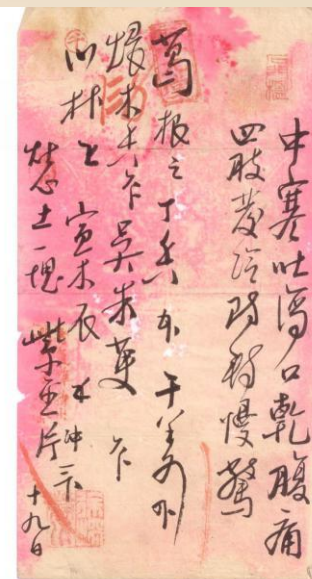
2019年4月9日走访诸暨戴思恭宗祠



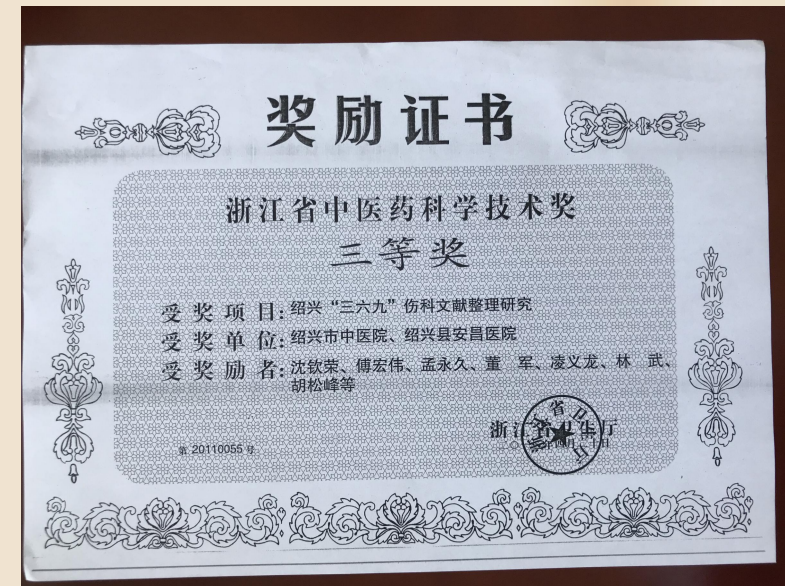
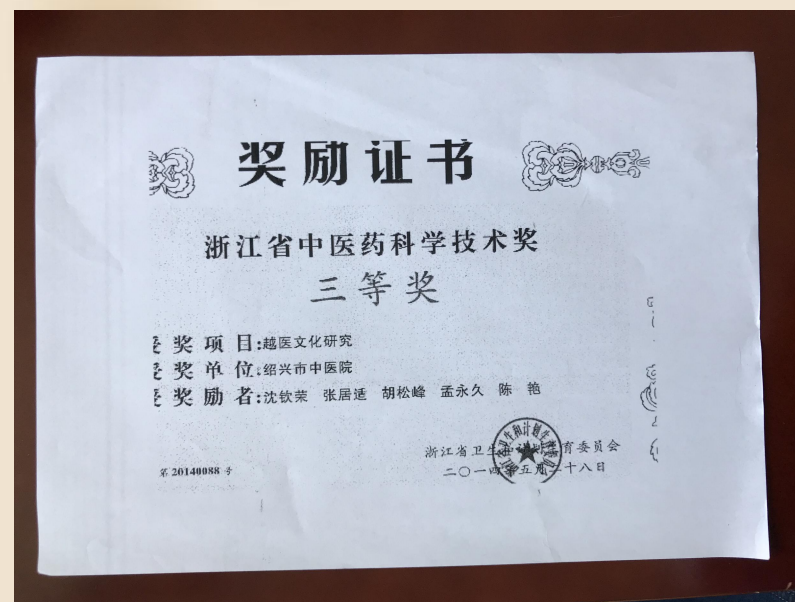
挖掘与保护



学习与研究



学习与研究





传承与弘扬





2019年，“越医文旅之路”演讲比赛

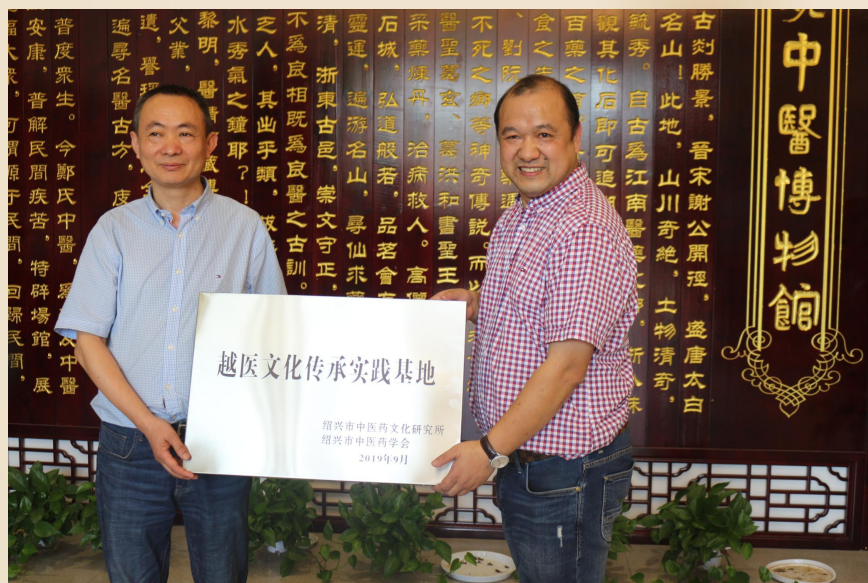


2018年，“越医杯”征文大赛



2018年7月1日于 兰亭书法艺术学院 举办“中医与书法” 活动







2017年7月11日“浙派中医”巡讲
绍兴启幕



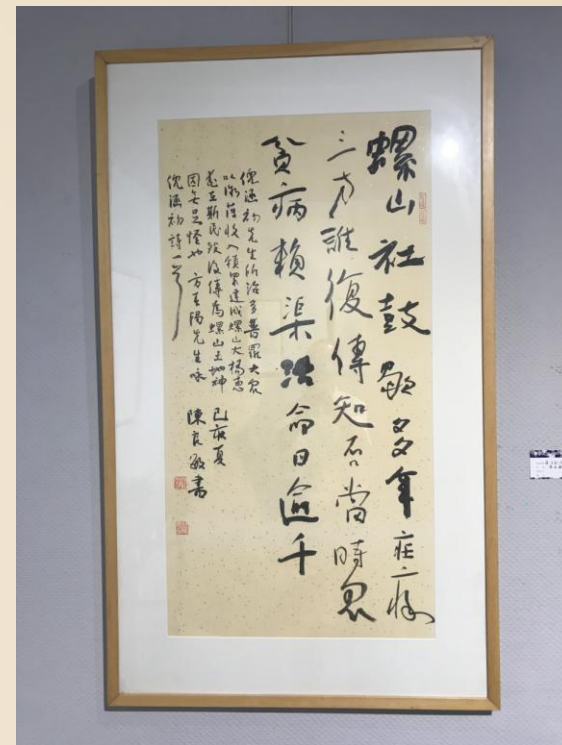
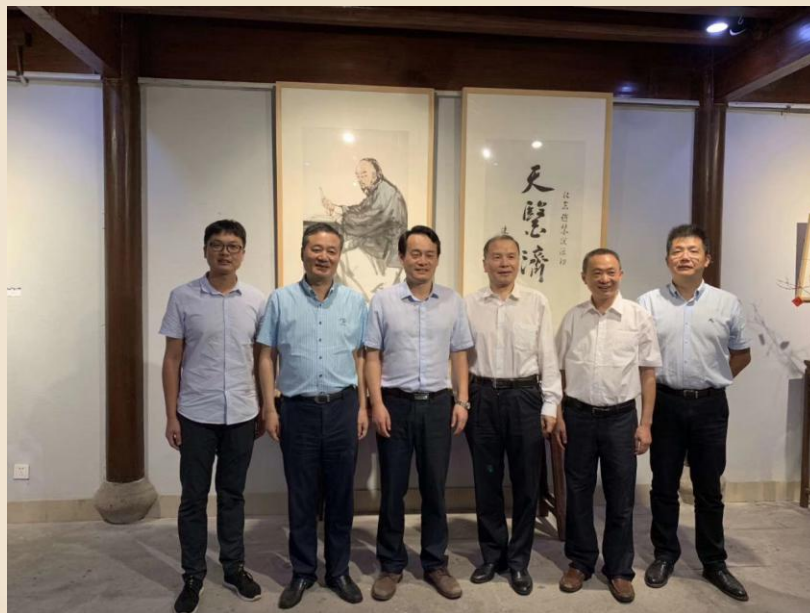
沈钦荣会长将会旗传递给
温州市中医药学会陈克平秘书长



2018年10月27日纪念张景岳诞辰455周年暨改革开放40周年张景岳学术传承发展研讨会



《张景岳学术传承发展研讨会绍兴宣言》



2019年9月21日天医济世展

传承与弘扬



2018年6月21日
日本学者来访

使える

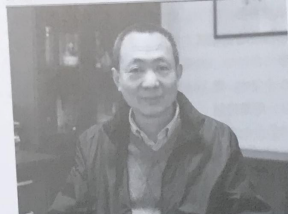
中

Clinical Journal

【特集】傷寒

■ 特集 傷寒と温病の統一 ～紹派傷寒～

INTERVIEW



紹興市中医院

沈 欽榮 教授に聞く

越医文化——名医を 育んだ紹興の地域文化

【聞き手：編集部】

越医——紹興の古称「越」の字を取り、紹興の医学を称してこう呼ぶ。越は春秋時代に現在の浙江省一帯を支配していた国で、首都は紹興（当時は会稽といった）に設けられた。故事成語「吳越同舟」の越である。そして紹興は「名士の郷」と称されるほど歴代多くの有力者を輩出してきたことで知られ、それと比例するように大勢の名医が陸続と誕生している。それはなぜか？ それには伝統医学と密接な関係にある地域文化の影響があった。
このたび、越医文化を専門に研究している紹興市中医院の沈欽榮教授に、越医隆盛の背景となった越文化の特徴や、紹興が生んだ医界の巨人・張景岳について話をうかがった。（編集部）

越医文化の特徴と それを育んだ地域性

——中国伝統医学と中国伝統文化は密接に関係しており、張景岳をはじめ数多くの名医を輩出した紹興も、悠久の歴史をもつ文化都市です。本日は、越医文化をおもな研究テーマにされている沈先生に、越医文化が他の地域文化と異なる特徴にはどんな点があるのか、またそうした特徴を生んだ要因はどこにあるのかについて教えていただきたいと思います。

越医文化は中医薬文化の重要な構成要素であり、伝承性と地域性という2つの特徴があります。
①伝承性：越医文化には悠久の歴史があり、越（紹興）の祖先が医療を始めた時から地域文化を内包しながら形成されてきました。越医文化は代々継承され、張景岳・章虚谷・俞根初・何廉臣・裘吉生・曹炳章といった傑出した医家を輩出し、「景岳全書」「類経」「医門棒喝」「通俗傷寒論」「珍本医書集成」「中国医学大成」といった名著を残してきました。さらに紹派傷寒を生み、銭氏妇科や三六九傷科など専門的な家系を輩出してきました。

②地域性：越医文化は、越の地理環境や風土習俗と不可分の関係にあります。この文化的土壌と切り離して越医文化は存在しません。越医文化は越の地の豊かで特色溢れる伝統文化によって育まれ発展してきたもので、越医の価値観や疾病治療の経験と考え方に影響を及ぼしてきました。越医文化は中国伝統文化と伝統医学文化の精華を融合したもので、古い越文化の核心思想が凝縮しています。中国伝統医学の貴重な歴史遺産であり、その学術的価値と文化的価値は中国医学史上重要な位置を占めています。

越医文化には次の4つの特徴があります。

1. 堅実な精神

清末民初、西洋の学問が東方に及び、多くの結社が作られ、この頃、盛んに雑誌が発行されました。資料によると、1908～20年の間に全国でおおよそ20種余りの中医雑誌が創刊され、多くはわずか1～2年で廃刊しましたが、紹興の『紹興医業学報』（以下、『学報』）は20年間発行を続けました。

1908年、何廉臣や裘吉生らが発起人となって紹興医業学報研究社が創設され、同じ年に『学

インタビュー/紹興市中医院 沈 欽榮教授に聞く

Profile 沈 欽榮（ちん・きんえい）

1963年生まれ。紹興市中医院 骨傷科主任医師・浙江中医药大学兼職教授。1985年浙江中医药大学卒業。1994年国家中医骨傷重点建設基地山東文登整骨医院で1年間研修。全国老中医薬専家學術経験傳承工作指導教師、浙江省名中医・浙江中医药大学修士指導教官・省中医薬重点学科中医骨傷科学科リーダー・紹興市中医学学会会長。



水郷の街・紹興はクリークがめぐり、古来、舟の往来が頻繁だった。現在も烏篷船の遊覧が楽しめる

報』が創刊されました。『学報』は、全国的な名中医の章太炎・丁仲枯・張寿頤・張寿甫・惲鐵樵・何公旦・袁桂生・楊殿熙・張汝偉・周小農・傅欄園・時逸人・王肖昉・高思潜・張破浪らを名誉編集員として招聘し、学識レベルは高く、学風は正統で、当時、全国の中医學術交流の中心的な活動地点になっていました。

その活動からは越医の厳格さが見て取れます。たとえば研究社の社長・副社長・評議員は投票によって決められ、結果は『学報』に公表されました。また3回続けて理由なく会議を欠席した者や、3カ月続けて会費を納めなかった者は自動的に退社する規定になっていました。

また、医学を学ぶ姿勢にも越医の堅実な精神がよく現れています。『通俗傷寒論』の俞根初が引用した書を見ると、『内経』『千金方』『傷寒總病論』『医学心悟』『福松園医鏡』『世医得效方』『張氏医通』『医門法律』『和剂局方』『医方集解』『傷寒全生集』などがあり、読書範囲の広さが窺えます。また俞根初は実践も重視し「王叔和（『傷寒論』）を熟読しても臨床を多く行うことはかなわないという諺があるが、これは臨床を多く行っている者は本を読まなくてもよいということではなく、臨床経験を多く行っている者は本もたくさん読んでいなくてもよい」（『通俗傷寒論』傷寒要義）という言葉も残っています。患者を診察する時は真摯な姿勢で集中力を高めて行い、後学には「患者を見てすぐに処方してはいけない」（『通俗傷寒論』傷寒診法）と戒めています。診察の際には、まず目と舌を觀察し、両手で胸腹部から小腹部を按診して痛みの有無を確認し、それから口渴があるか、二便は通じているか、どんな薬を服用し

ているかなどを問うてから、脈診を行って弁証し、病状を究明し、現象を審かにして、心の中で疑問がなくなってから処方を書き始めると述べ、他医にかかった患者に対しても、必ずどのような薬を服用し、その効果がどうであったか、もしその薬で効果がなければ、どこに誤りがあったのかを明らかにし、さらに自らの意見も採り入れて、控えめな態度で患者を危機から救い出しました。また俞根初は「もしすでに危篤状態で助け出せないのであれば、くれぐれも効果の乏しいやり方で誤ってはならない」（『通俗傷寒論』査旧方）ともいっており、ここから俞根初の堅実さが見て取れます。

2. 調和の思想

越の人である書聖・王羲之の書法は中和の美があり、わかりやすく誰でも楽しめます。人はこれを「激せず厲せず、而して風規自ずから道きに録るべし」（孫過庭『書譜』）と評しています。また、越劇（紹興の伝統演劇）は、抑揚と美しい節回しによって江南の情緒を表現してい

27 (347)

第39巻第3号（2018年9月）

中国臨床

26 (346)



児童に対していろいろと工夫し

分間の授業を集
だと先生は話し
基礎理論の「三
、プレゼンター
と黒板を活用し
て楽しめるよう工
の小学校では、各
れています）。興
いての基礎知識を
ちが数人いて、先
ていたことで、現
ている子供たちは

元上海の小学校に
アで中医学の出張
す。上海の子供たち
友にはまず子供たち
大切に強く感じま
たちが海外へ行くな
文化を紹介できるよ
ことです。

害に関しては、児童や
したようです。しかし
接する機会が減って
害に対する偏見がない
の授業が今後どのよう
したいと思います。

125 (281)

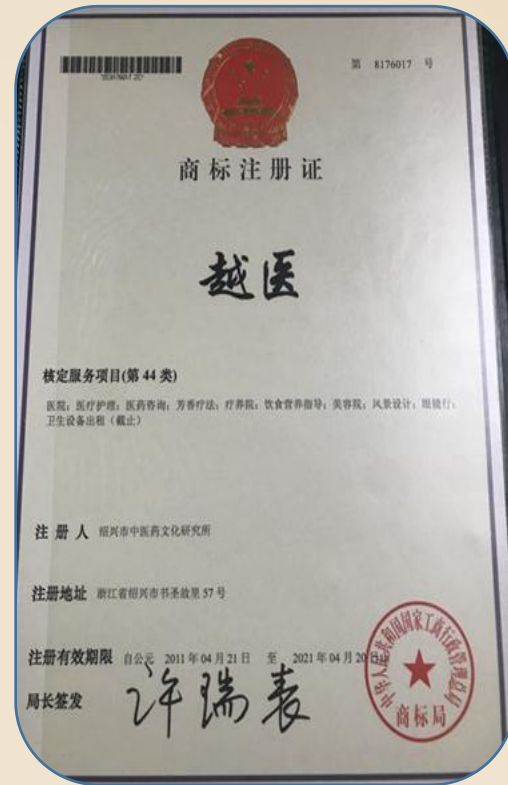


2019年6月25日
上海市中医药学会
医史文献分会
来访





传承与弘扬





绍兴中医杂志自创刊
以来内涵丰硕论述精辟深受
读者赞誉乃中医期刊之奇葩也

绍兴医派 名医辈出

佳章宏论 岐黄辉煌

九六夏朱良春书



癸巳初夏

『绍兴医派，名医辈出，
佳章宏论，岐黄辉煌』
首届国医大师朱良春题字

越晋文化融诸子思想
景岳学说集百家精华

何任



庚寅夏日
时年九十一岁

『越医文化融诸子思想，
景岳学说集百家精华』
首届国医大师何任题字



越医名家铜雕（张景岳、戴思恭、俞根初）



『大医精诚』墙



越医名家医方

貳

三点思考

1. 二个明白
2. 文化自信与文化自觉
3. 遗产传承与价值创新



二个明白

一是明白该保护什么

二是明白保护非遗项目的意义与价值





一是明白该保护什么

传统医药与非物质文化遗产

传统医药包括文化遗产部分和非物质文化遗产部分。但本质上属于非物质文化遗产。至少，它是从非物质文化遗产开始的。

传统医药是非物质文化遗产的一部分。

绍派伤寒是治疗外感病的一种独特诊疗技术。

绍派伤寒可追溯到明代张景岳，其《景岳全书·伤寒典》“治例”九类，为其滥觞。

清代俞根初（1734-1799）弘扬景岳学术并确立绍派伤寒，记载于《通俗伤寒论》，序曰：“吾绍伤寒有专科，名曰绍派。”

后人尊其为鼻祖。1776年，俞根初将《通俗伤寒论》手稿授予何秀山，何秀山给原稿加按语，使其说理更透应用更便。

民国时期，何廉臣（1860-1929）受业于其祖何秀山，传子幼廉、筱廉，徒曹炳章（1878-1956）等，校勘、增订《通俗伤寒论》，丰富了疗法手段，提高了疗效，集其大成。

现代徐荣斋（1911-1982）受业于曹炳章，为现代该疗法的领军者，编著《重订通俗伤寒论》，其主要贡献是对绍派伤寒源流进行深入研究，并身体力行大力传播，学术界影响深远，培养了一批传承者，既传授他们实践经验，并指导他们开展该疗法的学术研究。连建伟与徐氏亦师亦友，编著《三订通俗伤寒论》，其主要贡献是将绍派伤寒的代表方在治疗内科疑难杂病中的创新应用。在传承发展过程中，民国及建国早期，赵晴初、邵兰荪、胡宝书、傅再扬、潘文藻、陈祖皋、范中明等人阐发绍派伤寒医理、积累临证经验，发挥了重要作用。当前，郑淳理、常青、董汉良、陈天祥、毛水泉、柴中元、沈元良、沈钦荣、倪晓红等一批传承群体，受业于徐荣斋，不断探索该疗法在现代疾病谱中的灵活应用，开展传承活动，使其不断延续发展。

绍派伤寒的主要特征

- 1.诊病方法独特。**望诊重观目，辨苔划分六经，擅长腹诊。
- 2.用药特色鲜明。**喜用质地轻清的芳香理气药，如薄荷、荆芥、橘皮、蔻仁等；鲜药如鲜鱼腥草、鲜青蒿、鲜石菖蒲、鲜紫花地丁等；药汁如石菖蒲汁、生姜汁、生藕汁、梨汁等。
- 3.炮制方法特殊。**如鳖血炒柴胡、干姜拌捣五味子、麻黄拌捣熟地、莱菔子拌捣砂仁等。

4.地域特色明显，实用性强，影响广泛。绍派伤寒造就了俞、何、曹、徐等一批名家，留下了以《通俗伤寒论》为代表的一批名著，创制了羚角钩藤汤、蒿芩清胆汤、加减葳蕤汤等名方，提出“以六经钤百病，为确定之总诀；以三焦赅疫证，为变通之捷径”寒温一统新观点，实用性强，影响广泛，其重要内容编入《中医各家学说》、《方剂学》、《中医诊断学》等教材，至今仍为临床医生广泛应用。

绍派伤寒的重要价值

1.实用价值与学术创新价值。绍派伤寒提出“以六经钤百病，为确定之总诀；以三焦赅疫证，为变通之捷径”新观点，是中医外感理论的创新；其辨苔划分六经的特色，补充了《伤寒论》舌诊的不足；望诊重目，擅长腹诊，丰富了中医“四诊”的内容；辨证重湿，施治主化，喜用质地轻清的芳香药、鲜药、药汁等，创制羚角钩藤汤、蒿芩清胆汤等名方，临床疗效好，具有很高的实用与学术创新价值，为民国时期的中医写下浓重一笔，是浙派中医的杰出代表。

2.中药特色炮制传承价值。研究其特色炮制方法，探索机理，规范方法，具有很高传承价值。

3.历史文化价值。该疗法因时因地因人而总结发明的诊疗经验及理念，体现了中医整体观念、辨证论治核心价值的精髓，具有重要的历史文化价值。

4.社会经济价值。绍派伤寒自发明应用至今，挽救了无数患者的生命，治愈了无数患者的病痛，具有巨大的社会价值；绍派名家日诊百余人，促进了当地经济的繁荣和发展，具有重要的经济价值。

二是明白保护非遗项目的意义与价值

①历史意义与现实意义

②文化价值与经济价值



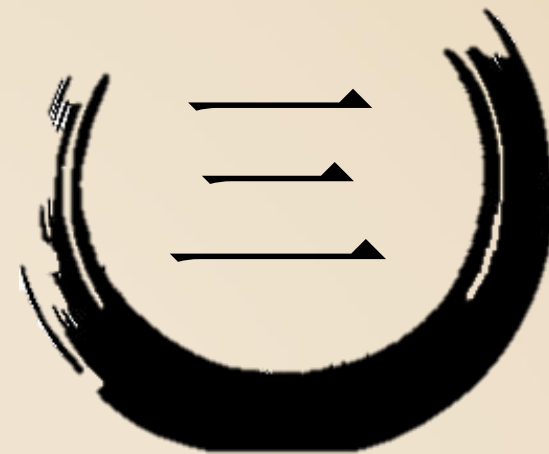
遗产传承与价值创新

创造性转化
创新性发展



五年保护工作思路：

见人、见物、见生活



- 1.传承人培养计划：让绍派传人薪火相传。
- 2.传承基地建设：让更多人了解绍派。
- 3.绍派伤寒，越医越好：争取委市共建项目，提高服务能力，绍派医术让更多人受惠。
- 4.文化创意与诊疗技术并进：努力打造绍派品牌。



谢谢！